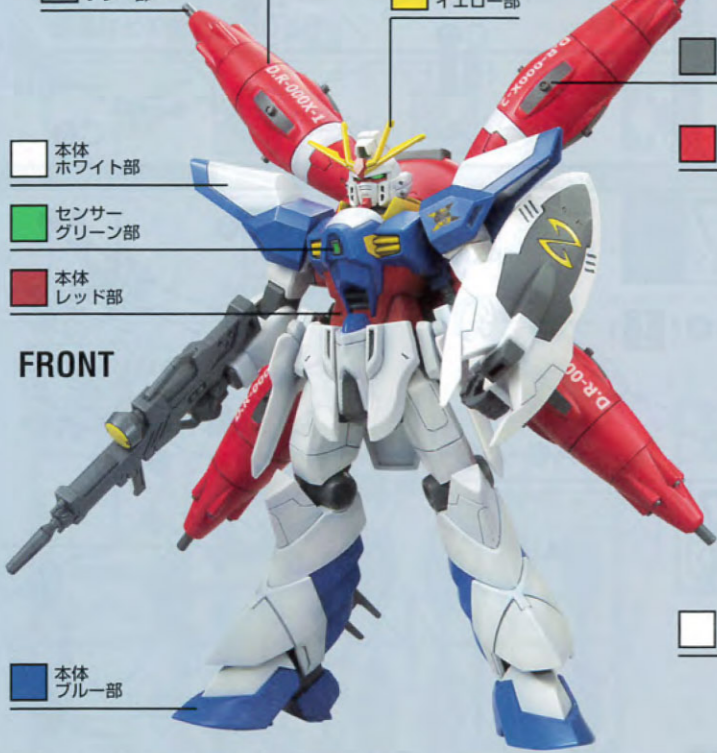


DREADNOUGHT GUNDAM

- ドラグーン レッド部
- 武器、関節等 グレー部
- 本体 ホワイト部
- センサー グリーン部
- 本体 レッド部
- 本体 ブルー部
- 本体 イエロー部

FRONT



本キットのシールドに「HGプロヴィデンスガンダム(別売り)」のサーベル(クリヤーパーツ)を、無改造で装着する事が可能。



- 武器、関節等 グレー部
- ドラグーン レッド部
- ドラグーン レッド部

REAR



- 武器、関節等 グレー部
- 本体 ホワイト部



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

- 本体ホワイト部: ホワイト(100%)
 - 本体レッド部: シェインレッド(60%) + ブラウン(30%) + ホワイト(10%) + ニュートラルグレー(少量)
 - 本体ブルー部: コバルトブルー(80%) + インディブルー(20%) + ホワイト(少量)
 - ドラグーン レッド部: シェインレッド(60%) + モンザレッド(40%) + ホワイト(少量)
 - 本体イエロー部: イエロー(70%) + オレンジイエロー(20%) + ホワイト(10%) + ニュートラルグレー(少量)
 - 武器、関節等グレー部: ニュートラルグレー(100%) + パープル(少量) + ブラック(少量)
 - センサー グリーン部: デイトナグリーン(90%) + ホワイト(10%)
- ※または、ガンダムカラー ホワイト5
※または、ガンダムカラー ブルー12
※または、ガンダムカラー レッド1

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売の、ガンダムカラー(「ドレッドノートガンダム」用、その他カラーセット)をお使いください。

DREADNOUGHT GUNDAM REAR



MARKING



- マーキング 写真の位置を参考に貼ってください。
- マーキングシール㊸
 - マーキングシール㊹
 - マーキングシール㊺ 又は マーキングシール㊻

DREADNOUGHT GUNDAM

YMF-X000A ドレッドノートガンダム(Xアストレイ)
1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM SEED MSV-07



BANDAI 2004 MADE IN JAPAN ※写真の完成品は塗装してあります。

0129455



プリスティス

XM1プリスティスは、ゲイツに装備されたエクステンショナルアレスターEEQ7Rの後継機だ。この兵器は、離れた敵を触手でからめ取り、先端のビーム砲で撃破するために考案された。有線制御のEEQ7Rに対して、プリスティスはドラグーンによる無線制御が可能となっている。制御ケーブルに見えるワイヤーは、このシステムが試作段階のため、万が一制御が不能になった場合にもプリスティスを失うことがないように装着されたものだ。



ドレッドノートガンダム

型式番号：YMF-X000A
全高：18.21m
重量：67.50t(ドラグーンシステム含まず)
武装：MA-M22Y ビームライフル
ドラグーン(分離式統合制御高速機動兵装群ネットワーク)システム×4
MMI-GAU2 ビクス76mm近接防御機関砲×4
MA-MV04 複合兵装防盾システム
XM1 プリスティス
ビームリーマー×2



マーク

ドレッドノートのマークには、ザフトによってテスト運用がおこなわれていた当時のものと、その後ジャンク屋の手に渡ってから付けられたものの2種類がある。このうち後者のマークは、ジャンク屋ギルドの共通マークに、ドレッドノートの特徴的なシルエットを組み合わせたものになっている。



ビームライフル

MA-M22YビームライフルはZGMF-600ゲイツ用に開発されたMA-M21Gの改良型である。MA-M22Yはその後、さらに改良が加えられプロヴィデンス用のMA-M221ユーディキウムの原型となった。

MECHANISM

シールド

MA-MV04複合兵装防盾システムは、ゲイツ以後の機体でザフトが盛んに採用した火器と防御用シールドの複合体だ。PS装甲とドラグーンを装備したドレッドノートでは複合兵装防盾の必要性が低下したため、MV04のスペックはゲイツ用のMV03を簡略化したものになっている。

ドラグーン

ドラグーンとは、Disconnected Rapid Armament Group Overlook Operation Network Systemの頭文字を並べた略称だ。正式名称は、「分離式統合制御高速機動兵装群ネットワーク」である。これは、高機動無人兵装をNジャマーによる電波障害環境下でも影響を受けない量子通信によって制御するシステムだ。大量の電力を消費するドラグーンを運用するためには、核エンジンを搭載したモビルスーツと、特殊な空間認識能力を備えたパイロットが必要である。



MATERIAL



フロント

リア

ドラグーン



illustrated by MORISHITA NAOCHIKA

※この商品には、「HG ドレッドノートガンダム(Xアストレイ)」が1体入っています。

DREADNOUGHT GUNDAM

YMF-X000Aドレッドノートは、ザフトが地球連合から奪い取った技術をベースにクラーク、アジモフ、ハインラインの三設計局が共同で開発したモビルスーツだ。その最大の特徴は、Nジャマーキャンセラーの搭載によって核エンジンの使用が可能になった点にある。また、核エンジンがもたらした莫大なパワーは、ドラグーンシステムやPS(フェイズシフト)装甲などの大量に電力を消費する強力な装備の搭載をも可能にした。その結果、ドレッドノートは後のガンダム系モビルスーツ(フリーダム、ジャスティス、リジェネレート、プロヴィデンス)につながる新テクノロジーを満載した実験的機体となったのである。本機のディテールは、この機体がゲイツと、ガンダム系機の両方の特徴を兼ね備えた過渡期のモデルであることを示している。

ドレッドノートとは「勇敢な者」を意味する言葉である。その命名理念は、公式には「プラントの守護を担う勇敢な機体であれ」との願いがこめられていると伝えられている。しかし実際の開発現場では、危険をともなう核エンジンを搭載したことでパイロットの負うリスクが増したことから、「こんな機体に乗る者は勇敢な人物だ」という冗談めかした理由から名付けられたという説が好んで伝えられた。

所期の目標を果たしたドレッドノートは解体調査後、廃棄処分されることになった。しかし大戦末期、ジャンク屋ギルドの機体、Xアストレイとして忽然と再登場する。「勇敢な者」の生涯は、数奇な運命に彩られていた。



ブレア・レヴェリー

ガンバレルシステムを運用できる空間認識能力を備えたパイロットを量産するため作り出されたクローン人間。クローニング技術が不完全だったため、寿命が極端に短いという悲劇的宿命を背負っていた。



注意

必ずお読みください

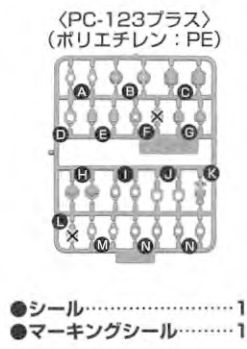
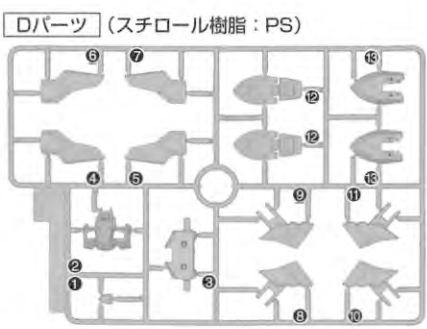
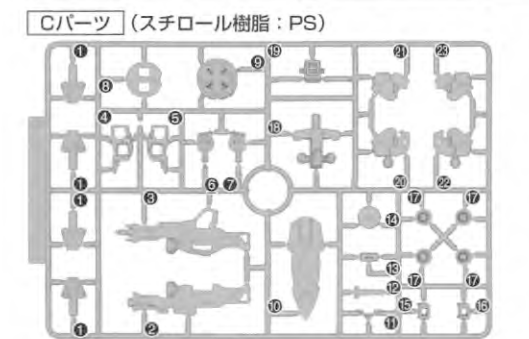
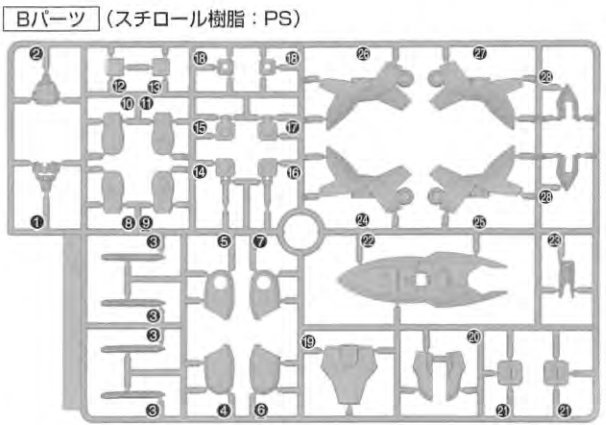
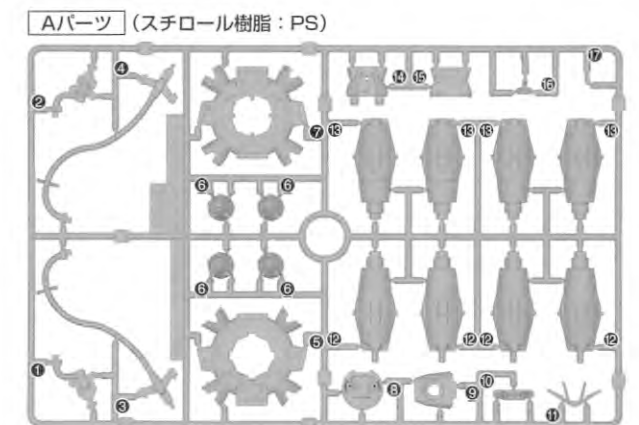
- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所がありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

パーツリスト



1 (1)

1 (2)

1 (3)

2

3

4

5

6

7 x2

